

■ ローバースカウト部門に進歩制度「国際ユースアワード」ができました

「国際ユースアワード」とは、これまでローバー部門は、他部門とは違い、進歩制度は不要とされてきましたが、大学ローパーではVS 隊からの入隊者が10%未満で、「進歩制度」を実質的に経験していないローパーが多くいると考えられます。また地域団のローバーではVS 隊からRS 隊に上進しても、指導者としての奉仕が多いため、RS としての活動が少ないといった背景があります。一方で世界スカウト機構からは、RS 部門について、奉仕だけでなく、他の部門同様5つの発達の側面(身体的、知的、情緒的、社会的、精神的)を満たすために進歩計画を含むべきだと提案されています。

これらの現状を踏まえ、国際的な体験活動の評価制度であり、海外留学や就職の際にも活用が可能となるよう、日本連盟から「国際ユースアワード」が提供されることになりました。

- [名 称] TheInternational Award for Young People 日本語で「国際ユースアワード」としている。
- [歴 史] 1956年、英国のエリザベス女王の夫である、エディンバラ公フィリップ殿下の提唱により世界レベルの青少年育成プログラムを目指して「The Duke of Edinburgh's Award」としてスタート(英国内では現在も「エディンバラ公アワード」と呼ばれる)。現在、143の国と地域で実施されており今固までに800万人以上の若者がアワードに挑戦した(2012年では20万人以上)。
- [目 的] 個々の青少年が累進的な自己開発プログラムにより、有為の人生を送るうえで必要な能力を高める。
- [対象年齢] ボーイスカウト日本連盟ではローパー年代のスカウトを対象とする。
- [アワードの仕組] アワードは、一人ひとりが4つの活動分野への継続的挑戦をすることにより授与されます。

[4つの活動分野]

1. 奉仕 (The Service Section)
 どうしたら社会に貢献できるか、また他の人々への有効な奉仕活動を行うことを実践により学ぶ。
2. 技術 (The Skill Section)
 個人の興味や関心(趣味)を探る活動、創造的で実践的な技能を獲得する活動への挑戦。
3. 肉体の鍛錬 (The Physical Recreation Section)
 スポーツ等の身体的なレクリエーションを通じて肉体の可動性を試し、鍛錬することで健全な身体育成を目指す。
4. 冒険的活動 (The Adventurous Journey)
 見知らぬ土地の自然のなかで探検することで、チャレンジ精神や探究心、過酷な環境でも生活できる自信を養う。(ゴールドレベルのみ「合宿プロジェクト」あり)

[3つのレベルの挑戦]

- ・ブロンズ(銅) :最低6か月の挑戦
 - ・シルバー(銀) :最低12か月の挑戦
 - ・ゴールド(金) :最低18か月の挑戦
- どのレベルからでも挑戦できるが、シルバーおよびゴールドへの挑戦を推奨する。

※ 具体的な分野ごとの取組例等詳細は6月以降に日本連盟ホームページに掲載されます。

■ 当面の活動予定

末永渉くん上進歓迎キャンプだホイ！

集 合 : 6月8日(土) 16:00 アクトランド八尾

持 ち 物 : 一泊キャンプに必要なもの

解 散 : 9日(日) 9:00

準備の都合上、参加者は6月5日18:00迄に川口隊長(urban.liner@docomo.ne.jp)まで連絡ください。

■ その他活動予定

6月 16日 ローバースカウト必須「ボーイスカウト講習会」←川口隊長講師 (^-^)/

申し込みは川口隊長まで

キャンプおおさか整備事業奉仕

7月 31日～8月8日 **第16回日本ジャンボリー** (山口県 きらら浜)